

高来図書室だより

2026年 2月号 NO.233

諫早市立高来図書室
〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)



TEL 0957-32-2395
開室時間 平日午前10時～午後6時
土日午前 9時～午後5時

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。

植物は、この寒い時期に力を蓄え、春になると一斉に芽吹きます。

暖かくなってから活動的に動くために、ぜひ図書室の本をお役立てください。

【臨時休館のお知らせ】

諫早	2月3日(火)～2月6日(金)
高来	2月5日(火)～2月6日(金)
たらみ	2月17日(火)～2月20日(金)
小長井	2月18日(水)～2月19日(木)



資料を一点一点確認し、棚の整理などを行います。みなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。



第174回 芥川賞・直木賞

◆芥川賞

『時の家』 鳥山まこと／著 講談社

『叫び』 畠山丑雄／著 新潮社

◆直木賞

『カフェーの帰り道』 嶋津輝 東京創元社

ご予約はお早めに。
合わせて過去の受賞作品を展示しています。

雑誌リサイクルのおしらせ

期 間：2月7日(土) 9時から

場 所：高来図書室カウンター横

高来図書室で購入している雑誌で、保存期限がすぎたものを無料でお譲りします。どうぞ活用ください。

2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	×	3	4	×	×	7
8	×	10	×	12	13	14
15	×	17	18	×	20	21
22	×	24	25	26	27	28

☒ : 休館日
■ : おはなし会

2月のおはなし会
28日(土)2時から
和室です



【一般書】

新着案内

【こどものほん】

『晴れの日の木馬たち』 原田マハ／著（新潮社）

倉敷紡績で働く少女すてらは、雑誌<白樺>でゴッホの絵を見て心打たれ、「ゴッホが絵を描いたように小説を書く」と自身の道を定める。岡山を去ることになったすてらは、東京へと向かい…。

『小説新潮』連載を単行本化。

『武家女人記』 砂原浩太郎／著（集英社）

娘として、母として、妻として、そしてひとりの女性として-。江戸時代、さまざまな身の上を生きる武家の女人たちをあざやかな筆致で描く時代小説集。「ぬばたま」など全7編を収録。『小説すばる』掲載を単行本化。

『テミスの不確かな法廷 [2]』 直島翔／著（KADOKAWA）

任官8年目の裁判官・安堂清春は、発達障害の特性に悩みながら、日々裁判に向き合っている。殺人の濡れ衣を着せられたと訴える男の再審裁判で、証人として出廷したのは、検察ナンバー3の地位にいる安堂の父で…。

『60代、日々好日 時々ため息』 唯川恵／著（光文社）

若くはないが老いてもいない、60代の生き方とは？ 直木賞作家・唯川恵が、故郷、健康、ライフスタイルなど、自ら感じた60代の10年間を綴ったエッセイ集。『月刊北國アクトス』連載を書籍化。

本の紹介出典；
TRC『週刊新刊全点案内』より

えほん



『あの、ここどうぞ。』
くすのきしげのり／作 こがめたく／絵（偕成社）

にちようび おんな こはとうさん でんしゃの のって としょかん で
日曜日、女の子はお父さんと電車に乗って図書館に出か
けました。必要としている人に席をゆずろうとしま
すが、なかなかうまくゆずれません。そんなとき、おばあ
さんが乗ってきました。女の子は勇気を出して声をかけ
ますが…。

よみもの



『やさしさバトン』
あらい けいこ／作、あわい／絵（岩崎書店）

だれかの笑顔は、別のだれかにももらったもの-。小学4年
生せいの有咲ありさは職場体験しよくばたいけんに友人たちと参加さんかした。なんでも損
得とくで考える有咲ありさだが、そこで知り合った目の不自由ふじゆうな女
の人ひとから、大切な“バトン”を受け取り…。

ちしき



『毒のある生き物と応急手当』
たかおか まさえ へんちよ なつあき まさる かんしゆう
高岡 昌江／編著、夏秋 優／監修（あすなろ書房）

しぜんかいは、にんげん にとってゆうどく い もの しょくぶつ かずおおく
自然界には、人間にとって有毒な生き物や植物が数多く
存在そんざいしています。スズメバチ、チャドクガ、アリなど、
どくをもつ身近みぢかな生き物の情報じょうほうと、毒によって人間にんげんにあら
われる症状しょうじょう、適切な応急手当おうきゅうてあてを紹介しょうかいします。